

1 自己評価及び外部評価結果

事業所番号	0673000675		
法人名	株式会社 互惠		
事業所名	コミュニティママ家		
所在地	山形県鶴岡市中田字追分162-2		
自己評価作成日	令和 2年 1月 5日	開設年月日	平成 17年 9月 1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで検索し、閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	協同組合オール・イン・ワン		
所在地	山形市検町四丁目3番10号		
訪問調査日	令和 2年 2月 13日	評価結果決定日	令和 2年 2月 26日

(ユニット名 だんらん)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者がしてきたことは能力や経験を生かしながらそのままに、出来ていたができなくなってきた部分は支援方法を工夫し 全てではなくとも出来ていたことを継続できるよう、しては来なかった事でも、個々の能力・可能性を信じ探りながらいつまでも現役で、互いに支えあいながらを頭に、個々を尊重しその人が出来ることを奪わない支援、待つことを大切にしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1ユニット目に記載

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
55	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	62	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
56	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,37)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	63	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
57	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
58	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:35,36)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:48)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:29,30)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
51	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

山形県地域密着型サービス「1 自己評価及び外部評価(結果)」

※複数ユニットがある場合、外部評価結果は1ユニット目の評価結果票にのみ記載します。

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員の中には法人理念がわからない方もいる。また、事業所としての理念が策定されていない			
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域消防団に協力をいただき避難訓練実施、天狗舞獅子舞の舞踊など披露していただいている。地域の祭り、文化祭 ゴミ拾いに参加はしているが、日常的な交流は図れていない たまに近所(特定の方)の方が果物などを届けに来てくれ入居者と一緒にお茶のみをしてくれることも。			
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の介護施設合同での取り組みではあるが、介護施設見学会開催時の事業所開放、付き添いスタッフとしての添乗。社協主催の認知症サポーター養成講座講師など地域貢献できるよう取り組み実施。現状 養成講座は事業所スタッフではなく法人代表が講師とし参加している。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	法人 別事業所「グループホームママ家」と合同で実施開催していて、入居者の通院・入院、入退去 行事等の報告含め情報交換の場とさせていただき、出た意見・提案を生かすようにしている。			
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月、介護相談員の訪問がある。仕組みや制度など、あいまいな点や気になる事 分からない事があれば問い合わせし教えて頂くことや、包括支援センターに困難事例で相談に行くことも			
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら、玄関に鍵をかけない工夫や、身体拘束をしないで過ごせるような工夫に取り組んでいる	玄関にチャイムをつけたり、使用する際は家族への説明を怠らず、ご理解・ご協力を得て離床センサー等を使用し、拘束しないケアを行なっている。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待行為にならないよう、入居者の安全を確保出来るようアイデアを出し合い実践している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会を設けておらず、理解している職員は少ない。成年後見制度の利用や手続き、関係者との話し合いは管理者又は介護主任が行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約全般は管理者が対応している。契約書、重要事項説明書、重度化指針等の説明を行っています。大まかな料金であったり、事業所として出来ること出来ない事の説明は特に入居相談の時からするようにし、不安解消してから入居という形がとれるようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。設置しているが投函はなく 飾りになってしまっている状態。その分特に面会時意見 要望等お伺いするようにはしているが満足ですと返答で、あまり意見 要望が頂けていない。		
11		○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は職員の意見・要望に柔軟に対応してくれている。職員の満足度調査アンケートを実施していたが、意見・提案を出来る状況にはあるが、あまり反映されていない事、調査項目・記入方法の見直しも含め現在満足度調査は実施できていない。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与水準の部分では人事評価制度の活用を行っている。各自がやりがい・向上心を持って働けるような環境、条件の整備の部分ではあまり感じる事ができていない		
13	(7)	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	回覧板にて研修を知らせているが外部研修への参加は少ない。法人代表者がユニット会議に参加頂いた際アドバイスをもらっている。内部研修は、看護師・福祉用具の業者さん、市職員を講師として実施している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14	(8)	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県のグループホーム連絡会に加入し、参加頻度は少ないが、庄内ブロックでの研修や講演を聞く機会はある。県GH大会へ参加する機会はなくなり、他事業所の取り組みや発表を聞ける機会が無くなってしまった。交換実習で、他事業所の職員の受け入れや当施設職員も実習への参加実施。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前アセスメントを丁寧に行い、家族・本人からの発言を大事にし情報の共有と対応を心掛けている。早く新しい環境に慣れてもらえるようにしている。言葉だけのやり取りではなく、表情やしぐさも気にかけて接している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に不安な部分が解消されるような説明を心掛け行うようにしている。相談にいらしていただいた後は、少しでも気になる事等あれば電話でも大丈夫ですし、電話で難しいようであればご自宅にお邪魔させていただきますので連絡くださいと伝え対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談にいらした際など事業所で可能な部分、困難な部分の説明をさせて頂き、現状の生活状況を把握した上で他サービスの提案だったり、本人にとって一番必要な支援を受けられるよう配慮 対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は入居者さんと一緒に掃除や洗濯、食事準備、片付け等毎日の家事を行い感謝・労いの言葉を大切にしながら生活している。充足感を感じられるような支援に取り組んでいる。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の訪問があった際の近況報告と、つきじの状況報告書送付、必要に応じ電話連絡するなどし関わりをもって頂けるようしえんしている。		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	毎年年賀はがきを出し関係が途切れること無いよう支援している。できる限り行きたい場所への外出支援をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	役割活動やレク活動を通じて入居者同士が会話・交流できるような支援に取り組んでいる		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所し他事業所へ入居される際などフェースシートなどを活用し情報提供を行うようにしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	定期的にモニタリングを実施し、本人の希望に添えるよう必要な支援ができるよう努めています。本人の意向確認が難しい場合は家族からの情報であったり、職員同士の話し合いを経ての支援に取り組んでいる。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に面談を実施し情報収集。フェースシートにまとめ入居前に情報を共有し支援できる体制を整えるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録入力用のパソコンを使い支援内容や特記事項を打ち込みと特に重要な点は日々の日報への記入も行いユニットスタッフ間のみならず法人看護師等含め情報共有できるよう努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者に対しての担当職員が決まっている。介護主任(介護支援専門員兼務)はユニット入居者全体を細かく把握、担当職員に対し提案や助言、意見を出しやすいような声をかけやチームで支援できるよう働きかけてくれている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	項目25同様 パソコンと日報での記録管理、情報共有。特に気にかけてほしい情報や今までと変化があった記録には主任が蛍光ペン等でチェックするなどし、情報漏れが起こらないよう努めている事と、記録を拾いながら支援方法の変更に役立っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	住み慣れた場所(自宅があった町内会)で敬老会等のイベントがあれば参加するようにし、なじみの方々とコミュニケーションがとれるような支援に努めている。		
29	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居する際、本人・家族の意向を尊重し主治医の変更を強制していない。入居前からのかかりつけ医に継続し受診できるようにしている。基本家族さん対応での受診をお願いしているが、協力医が主治医であれば1回/月の往診があり、家族さんが都合がつかない場合の受診(専門医への紹介含め)は事業所でも対応行っている。		
30		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の健康観察実施 変化 気づきを都度 報告・相談行い対応の指示や処置依頼など良好な関係を築けている。看護職員もユニット状況を見ながら介護の部分でも応援に入り入居者さんの日々の状態確認にも努めている。		
31		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、入院治療が必要な可能性が生じた場合は、協力医療機関を含めた病院関係者との関係づくりを行っている。	入院する際は情報提供書を。入院時には特に担当介護支援専門員が面会に行き、現状確認や看護師・医療連携室から情報収集など。退院前はカンファレンスへの参加し退院後の支援に支障がないようスムーズな退院につながるよう連携をとっている。		
32	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、医療関係者等と共にチームで支援に取り組んでいる	入居する際に看取り指針の説明を行い、都度変更可能と伝えたくえで意向確認を行っている。面会時や月ごとの報告書で現状を伝えるなど段階を踏んでの説明、協力医・看護師、介護支援専門員 管理者 交え家族との話し合いを実施し文書作成実施 家族・施設双方が確認できるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
33		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AED使用方法や、心肺蘇生の訓練は全職員が消防、施設看護師指導の下訓練しているがその他急変時については、職員によって知識・経験の差があり、介護主任・看護師・管理者などに指示をもらうなどし対応を行っているのが現状となっている。看護師はオンコール対応も			
34	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ユニットごと防災委員が配置されていて、防災委員主動でユニット内(火災想定や地震想定)の机上または初動)訓練を実施。他に地区消防団や消防、設備屋さんの協力を得ながら法人全体で定期的に避難誘導訓練(日中・夜間想定)を行っている。水害時の訓練は未だ実施できていない。			
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
35	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として、一人ひとりを尊重した言葉遣いや接し方をしている。入浴、排泄などの際には特にプライバシーを損ねないよう配慮し支援を行っている。			
36		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望や要望を会話の中から引き出せるよ心掛け、自己決定できるよう働きかけている。			
37		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の状態や体調により方法を変えたり等柔軟な対応で支援している。心身の状態が毎日違うという事を念頭に置きながら声掛けの方法であったり支援の方法も変えている。余暇活動においても個を尊重した支援 皆がしているからという事は行っていない。			
38		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着用する服を選んでいただいたり、共用スペースにはなるが、鏡の前で鏡を見ながら身なりを整えたりして頂いている。理美容は1回/月であったり2回/月であったりとここに合わせ出かけたり、訪問していただいている。髭剃りなどもその方に合わせた方法での支援を行っている。			
39	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は外注のため、一人一人の好みを聞きながらの提供は出来ていない。外食等に出かけた際は「同じでいい」とならないよう声かけを工夫し食べたいものを食べられるよう支援行っている。普段の食事に調理(外注のため)は含まれていないが、切ったり盛り付けたり片付けなど出来る範囲で一緒に行っている。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	残食があった場合、理由(本人確認)も含め記録を残している。食べられなかった理由など聞いたうえで提供方法の変更であったり代替え食での対応、食事時間をずらしたりしている。水分量が明らかに少ない場合なども記録、伝達しまた、様々な飲み物を用意し適切な水分量確保できるよう昼夜対応・支援行っている。		
41		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食前に嗽をしてもらっている。(飲み込んでも害がなく、殺菌効果のある緑茶を使用)。食後は口腔ケアを行い清潔な状態が保たれるようにしている。		
42	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、その方に合ったパット、トイレ誘導の際の声がけ実施。今までがこうだったからこのままというふうにはせず、現在の状態や状況を見ながらオムツ使用を減らしたりパンツのタイプ変更に取り組みリハビリパンツ+パットから布パンツ+パットに変わった方も。		
43		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	センナ茶、乳製品を取り入れている。排泄チェック表を用い職員同士情報共有しながら個々に応じた支援を心掛けている。		
44	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、事業所の都合だけで曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的には一日置きの入浴としているが、本人の希望を聞き、個々に合わせ(入浴日であったり時間、入浴するしない含め)るよう最大限努力し支援している。		
45		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間や静養時間、習慣が個々に違うので、習慣を大切にしながら声掛けや支援を行っている。寝具や温湿度にも配慮し、食事・おやつ以外の時間は自由に過ごしていただいている。		
46		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	効能、副作用、用法等の理解に努め、服薬時も飲み込みまで確認。飲み忘れ等起こらないよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までしてきたこと、得意な事などを生活歴などから把握、今までではなかったがどう支援すれば楽しみながらやりがいを持ちしていただくことができるか？など決めつけの支援は行わず常に考え取り組んでみるを心掛け支援している。嗜好品(酒やビールなど)の提供など、楽しみを持った生活が送られるよう支援を行っている。		
48	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	屋外の散歩であったり季節ごとドライブ、お祭りなどに出かけ楽しい思い出ができるよう支援している。天気が良く突発的に出かけた(どっか行きたい)あった場合も柔軟に対応している。移動は大変なってきた(本人さん)が・・という方もどうすれば対応できるか できる方法を考え支援している。		
49		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	毎回ではないが、買い物やドライブに外出した際、自分で支払いしていただくなどしている。		
50		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話したい等あった際の家族の意向も事前に確認し、電話利用の制限はしていない。自由に使えるようにしている。家族のみならず、面会に来てくださった方に対しても毎年写真入り年賀状も出すようにし、必要に応じ代筆するなどの支援を行っている。		
51	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の塗り絵を展示したり季節に合わせての飾りつけを一緒に行ったりし季節感のある空間づくりに努めている。共用空間、個々の居室も含め通常時、感染症の時期により消毒方法・回数も変え予防に取り組んでいる。		
52		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやリクライニング椅子を置き、好きな椅子に座る事ができ、思い思いに過ごせるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのものや写真等を居室に飾ったり、自宅での生活スペース、生活してきた環境にも配慮し居心地よく過ごせるよう家具等の配置も工夫している。			
54		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室への名前の表記方法であったり棚への掲示方法(各々が分かるよう配慮)の工夫、場所への掲示も含め出来る限り、自分で判断し行動していただける様工夫を行なっている。必要な方へは家族様への説明承諾を得て離床センサー等も設置し自立した生活を送れるよう対応している。			